

継承と確信

Commitment



伝統の“技”から未来を創造する

当社は創業以来長きにわたる歴史の中で

「変えてはならないもの」と「変えなければならないもの」を明確に区分してきました。

そのうえで、

時には頑ななまでに伝統を堅持し、

また変えなければならない時にはあえて伝統に挑戦し、

時代に応じた革新を常に求めてまいりました。

当社のお菓子が時代を重ね、場所を移してもなお多くのお客様に共感を頂けたのは、

伝統を重んじつつ、時には果敢に改革をおこなった経営姿勢や、

先人より伝承されたお客様への想い = “心” と製造技術 = “技” に

ささえられてのことに自負いたしております。

本高砂屋のおこり

それは一人の青年のある思いから始まりました。

「手に技と知識をつけて、いつかは一旗揚げてやる」

創業者の杉田太吉は和菓子屋で修業を重ね、その経験を基に

神戸は元町の地に和菓子店「紅花堂(こうかどう)」をおこしました。

「どこにもないお菓子を」の想いは強く、

瓦せんべいだけでなく次々とお菓子を考案、

屋号も合わせて「高砂屋」、

そして「本高砂屋」へと移り変わっていきました。



明治初期の紅花堂



創業者 杉田太吉

